

12422

十八五

(小島信)

第四水雷戦隊戦時日誌

第四水雷戦隊司令部

四水戦機密第九號、二

自昭和十八年五月一日
至昭和十八年五月廿一日

吉野

東

八月二十五日

~~18.12.22~~

功測
18.12.24
接受

一 經過

(目次)

二 人員現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊行動

五 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十八年五月一日
至昭和十八年五月廿一日
第四水雷戰隊戰時日誌

經過
（一）一般情勢

GFノ大部ハ前月ニ引續キ、トラックニ在リシガ上中
旬其ノ主隊及KBノ大部内地ニ回航ス
彼我共東部ニユートギニア、ソロモニ諸島及北方
カリキュトシヤンシ方面各前線基地ニ對シ極力増
援補給ヲ繼續シ、アリ戦斗ハ主トシテ各前線
航空攻防戰及各増援輸送阻止ニ努ムル航空
機及潜水艦ニ依リテ惹起セラレシ、アリ
我方亦各部共敵制空權下及敵潜水艦ノ跳

アリ
部下ニ於テ困難ナル増援輸送ヲ安良施シツク

十四日遂ニ敵大部隊北方ヲアツツレ島ニ上陸我
守備隊ハ孤軍奮斗能ク之ヲ支エタルモ敵制
空権下ニ於ケル増援輸送意思ノ如クナラズ遂ニ

三十一日玉砕スルニ至レリ

東部ニエーギニアラエラモカ方面及コロモニ
諸島ヲムシタコロンバンガラ方面亦敵龍襲ノ顧慮
益増大シ戦局愈々重大トナリツキアリ

(口) 作戦経過ノ概要

旗艦(長良)ハ前月ニ引續キ本隊ニ編入
終始「トラウク」ニ在リテ待機訓練整備ニ任ジ
六月一時將旗ヲ時雨ニ移揚シ(時雨有明)

及初月 伊二六靖ヲ指揮シトラツク 礁外ニ松テ対
 潜攻撃ヲ訓練ヲ實施施又十二日 45d (長良 249 (時雨
 有明)) 二十二日 45d (長良 449 (其風)) 夫々トラツク
 礁内出勤訓練ヲ實施セリ
 八日内地回航部隊 (55 大和 雪鷹 沖鷹) トラツク
 出撃時 249 (時雨) ハ 船信令ヲ二六五號ニ依リ其ノ
 前路ヲ掃蕩任務ニ從事シタル後 九日「上」ク
 歸投 249 (五月雨) ヲ暮ハ 電令ヲ五四九號
 ニ依リ同部隊ノ敬言戒任務ニ從事 横須賀 國航
 夕暮 十三日一五四ノ 横須賀 着 249 (五月雨) ハ 55
 長波ト共ニ同日一九〇ノ 横須賀 着 249 (五月雨)
 ハ 尔後 電令ヲ五五八號ニ依リ HCBニ編入
 セラシ同方面作戰任務ニ從事ス

春兩ハ前月ニ引續キ「トラック」ニ於テ應急修理
 中ノ處ニ十一日右完「トラック」ヲ發シ三十日横須賀
 着爾后同地ニ於テ修理ニ從事ス
 27dy (白露夕)ハ上旬「トラック」ニ在リ訓練整備ニ
 從事 27dy (時雨有明)ハ前記任務ノ後十七日
 昨電令作中五六号ニ依リ昨主隊ニ編入セラレ
 内地回航部隊 (15 (六和夕) 20 (軍鷹夕) 直衛任
 務ニ從事 「トラック」發 二十二日横須賀着
 夕暮ハ前記横須賀着 (十三日) 後同地ニ在リテ
 待機整備 (十九日入渠 二十四日出渠) ニ任ジ 27dy
 (白露夕) 二十二日 昨電令作中五六五號ニ依リ
 28dy 編入横須賀及木更津方面ニ行動 三十一日
 夕最上大湊ト共ニ内海西部ニ向ケ横須賀發

白露ハ引續キ終始長崎ニ於テ入渠修理ニ從事ス

八月廿七日ハオトラックレ着以降48dニ編入(指揮下ニ入ル)セラレ後同地ニ在リテ訓練整備ニ任ズ。前記、外ヲトラックレニ於テ左ノ通敬言戒護衛ヲ設テ從事何レモ任務ヲ完遂セリ。八月廿日ハ電令作中一九三号ニ依ル日榮丸(トラックレヨリ礁外一五ノ淺迄)及立洋丸(礁外五ノ淺ヨリトラックレ迄)ニ護衛十三日(時雨)Ab電令中一九七号ニ依ル旭東丸(礁外一五ノ淺迄)ニ護衛ハ軍隊區分前進部隊本隊(戸田直率)

二	第三驅逐隊	戸川時雨(2)有明(3)夕暮(4)白露	第一小隊	第二小隊
一	第二驅逐隊	戸川五月雨(2)春雨	第一小隊	第二小隊
○	長良	良		
隊番號	艦(隊)名	小隊番號及艦船番號		

五月一日

艦隊(連川)
 聯合艦隊 第二艦隊 第四水雷戰隊

十三日 2dg (五月雨) HPB = 編入
 十七日 4dg (秋風) 4sd = 編入
 二十二日 2dg (白露) KdB = 編入

主要任務

「トウリック」ニ在リテ訓練待機

(修理艦ハ現任任務續行)

二人員、現状

(一)司令部

(二)職員官氏名

職	司令官	參謀	同	同	同	同	司令部附	同
主務		首席	砲術	通信	機關	當番長	水中測的	
官	少將	中佐	少佐	大尉	少佐	少尉	同	
氏名	高間 完	有馬 高 泰	永井 昇	藍川 安 博	西田 恒 晃	矢嶋 貞 三	池田 信 夫	
名記								
事								

(口)異動

(二) 麾下艦船總員數

記事	種別	士官	特准	下官兵	其他	計
	員數	七一	五八	二五五一	三	二六七三

(三) 下士官兵其他員數

記事	兵種	兵科	工作科	主計科	傭人	合計
	員數	一六	三	五	一	二五

司令部附	編參謀處	大尉	後藤準一
五月十五日發令 同二十七日署名任 同二十九日朝日丸 病院二引入啓事表			

三令達報告等

發日時	二日 上 AdB
受日時 (編報)	戰隊 水戰
令達報告等	<p>AdB 信令中ニ五〇號 左ヨリ電信員ヲ四通信隊ニ 派遣シ通信謀報作業ニ從 事セシムベシ</p> <p>一期日 五月五日ヨリ特令アル迄 二員數 三戰隊五戰隊各ニ右 八戰隊ニ水戰四水戰</p> <p>三指揮官 大津ニ艦隊司令部 付(五月三日〇〇〇〇發令)</p>
種別	信号

<p>二日 P AdB</p>	<p>二日 一三〇五 P 4.5d</p>
<p>二日 一四二五 AdB KdB V 搭 載 艦 P GF P GF P 4B9 902/4g</p>	<p>三日 一三〇五 P 2F 4.5d</p>
<p>AdB 信令 中 二五二號 明 五月三日 以降 機密 GF 命令 中 三四號 三 依ル AdB V 派出 区分 其他 (AdB 信令 二四六号 所定) ヲ 左ノ 通 改ム 一 組 別 中 一 組 三 戰 隊 中 二 組 四 戰 隊 中 三 組 五 戰 隊</p>	<p>4.5d 信令 中 九一號 前進 部隊 信令 中 二五〇號 二 依ル 電信 員 派 出 艦ヲ 長 良 (司令 部 附 艦 電信 員 具 含ム) 二 指 定 ス</p>
<p>信 号</p>	<p>信 号</p>

三月
P
ADB

4/24
P GF
P GF
P GF
4/24 3F
ADB
〃 四三二

第四五組 八戰隊

各組六機宛 予備機(特令

ニ依リ派出)神通 長良

ニ五月三日ヲ第三組トシ以下

順次派出ス飛行機發進

時刻ヲ四三トス

三通信統制艦愛宕

北信令第十五八號

257ヲ前進部隊泊地対空

防衛指揮官ニ指定ス

前進部隊泊地対空防衛指

揮官ハ所要ニ應ジ適宜上空

直備機及ビ対空哨戒機ヲ信

四月

一九三八

GF

五月

二四五一

GF 大和

海軍省

GF

GF

配スバニ自地ノ防空防衛ニ
任ズル外訓練ノ為ニ艦外活動
ノ飛行機ヲシテ適宜内南
洋部隊ノ明武ニ協力セシム
ベシ

研慮中作中五百九号

大和ハ五月七ヨリソノ艦内

海西部ニ回航スベシ内海西部

着目以後主力ノ部隊ニ編入

主力ノ部隊指揮官大和ヲ

シテ入港不修理及訓練

鉄ニ從入港セシムベシ

三所ニ艦長ハ云云艦中艦

無線

潮中ニ駆逐隊(五月兩)ノ暮
 長波ヲ指揮五月七日トラ
 ヲクニ元横須賀ニ回航スベシ
 尔後ノ行動ハ特令ス回航
 中Aノ兵(北緯30東經135
 大和艦長所定)迄大和艦
 長ノ指揮ヲ受ケ大和ト同
 航スベシ
 四機動部隊指揮官ハ駆逐艦
 三隻及飛行機適宜ヲ派
 遣シAノ莫以降ノ大和ノ警言
 戒ニ任ゼシムベシ

無線

<p>五月 一五二七</p> <p>2F 参謀</p>	<p>五月 GF</p>
<p>横須賀工 廠長</p> <p>GF 2049 2049 458</p> <p>2049 外略</p>	<p>五月 一七四二</p> <p>Add IS</p>
<p>2F 機密中の五一五二七番電 五月雨夕暮、五月十二日頃横 須賀に着豫定、處訓令工 事、一日毛速ニ完了、方取計 ト相成度、追テ完成予定期 日通報ヲ得度</p>	<p>GF 信令中四四〇号 明後七日大和雲鷹鳥沖鷹鳥 一四三。北水道出撃予(針路 三〇〇度)ノ豫定前進部隊 駆逐艦及飛行機ヲ以テ右 前路掃蕩並ニ対潜攻撃ヲ ヲ派遣シ、UBニ協力スベシ</p> <p>信号</p>

五日一五三五
P
AdB

一八五五
A
4,8d

AdB 飛電令作第一九三号
司令官ハ麾下駆逐艦一隻
ヲ派遣八月「スラバヤ」ニ向ケト

鉄コアングルニ圧潰

四月)ニ依ル損傷復旧ニ事
一〇七番ドリムヨリ一三五番
ドリム迄右舷上甲板舷
側板ト継目約一〇種凹ヲ生シ

(一)五月雨九三式超短波無線
線而電話機壯装備ニ事損
傷艦春雨壯装備九三式電
話機ヲ五月雨ニ移載シアリ
(二)夕暮機密第四二三〇番電
無線

<p>五月一九二〇 P 4sd</p>	
<p>五月二〇二一 P 2719 有明 P 2KEY 日栄丸 2F 2F</p>	<p>五月二〇二一 P 2KEY 日栄丸 P 2719 F F 2F 2719</p>
<p>4sd 信和電令作第一三號 AB 電令作第一九三號 = 依ル 駆逐艦ヲ有明ニ指定ス</p>	<p>ムベシ 港隊定ノ玄洋丸(礁外一五 の埋附近ヨリ)ノ其護衛ニ任ゼシ セシタル後九日トラック入 外一五の埋附近迄(其護衛 ラック)ノ元隊定ノ日栄丸(礁</p>
<p>無 録</p>	

<p>七日</p> <p>P ADB</p>	<p>五日</p> <p>P ADB</p>
<p>ADB</p> <p>〃〇八三五</p>	<p>ADB</p> <p>〃ニ二〇</p> <p>GF P 4F 雲大和 沖廣 48g</p>
<p>ADB 信令 第二六五号</p> <p>一 信令 第二三二号 依ルニ七駆 (時雨 有明) 初月ノ前路掃 揚ヲ取止ム</p>	<p>ADB 信令 第二六二号</p> <p>一 4Sd 司令官ハ三十七駆(時雨 有明)ヲシテ航空部隊指 揮官ハ初月ヲシテ夫々GF信 令 第二四四〇號ニ依ル大和 雲大 沖廣ノ前路掃揚 ヲ実施セシムベシ</p> <p>二 右行動中 初月ヲ三十七駆 司令官ノ指揮下ニ入ル</p> <p>信号</p>

10.

1931

<p>七日 〇三二</p> <p>P 48d</p>	
<p>(P 2F 15)</p> <p>48d</p>	<p>(P 48d 大和 沖六)</p> <p>GF P 4F</p>
<p>48d 信令中九七号</p> <p>二十七駆(時雨)ハ出前進部隊</p> <p>信令中才二六五号ニ依ル仕勢</p> <p>ニ從ハ事スベシ</p>	<p>二8d 司令官ハ二十七駆(時雨)</p> <p>ヲシテFB指揮官ハ初月ヲシテ</p> <p>夫々大和艦長ノ指揮ヲ受</p> <p>ケGF信令中四四〇号ニ依ル</p> <p>大和沖六ノ直衛ニ加入</p> <p>(出港後ヨリ本七日日没頃</p> <p>迄)セシムベシ</p>
<p>信号</p>	<p>信号</p>

<p>七日 GF</p>	<p>七日 AdB</p>
<p>18. 5d. 5S. 大和 GF P 2F P 3F P 4F P 40g P 6F 雲鷹 沖六</p>	<p>1025 AdB GF P 4F P 40g 大和 雲鷹 沖六</p>
<p>GF 信電令作中十四號 一、電令作中五四九號ニ依ル 大和、雲鷹、沖鷹、康遂艦 四隻、トラウク、タカヲ明八日 ニ改ム</p>	<p>AdB 信令中五六八號 信令中五六五號ニ依ルニ七駆 (時雨) 初月ノ行動中左ノ 通改ム 一直衛加入期間ヲ出港後 ヨリ明八日薄暮時迄トス 三直衛加入中五戦隊司令官 ノ指揮ヲ受ク</p> <p>信 号</p>

七日

△
55

9024
横佐履
長官
大及
總長

大和雲大
沖六長波
五月雨夕暮
潮初月時雨
各P
48d
2sd
48g
P
4F
P
2F
P
4F

二司令官ハ電令作中五四九
号及五五三號ニヨル内地回航
各艦ヲ指揮シ電令作中五
四九號中三号要領ニ依リ
行動スベシ

信令中八三號

一回航部隊ハ月八日一四三〇北
水道出撃ヲ(航路ハ大和機
密中五号ノ六ノ通)ノ予定ニ
十七配(時雨)初月ハ一〇〇〇出
港北水道外敵潜掃揚ヲ実
施シタル後同水道外ニ於テ
回航部隊ニ合同スベシ

七月
F
AdB

一七三四
F
AdB
4F
P
40g

三月八日〇七〇〇各艦航海長
妙高ニ参集スバシ

AdB 信令ヲ二七三號

五月八日〇七〇〇以後ヲ三整齊

配備中ノ整齊戒當直艦並ニ

哨艇監視哨派出区分左

ノ通改ム

一當直艦

（一）一組（45 神通長良）

（二）二組（35 利根）

（三）三組（25 筑摩）毎ニ

各一隻但シ神通長良ハ
信号

同時ニ當直艦トナル

<p>十一日 P AdB</p>	<p>リ 〇 七 五 〇 P 45d 旭東丸</p>	<p>AdB 承令 作弟九七号 一 旭東丸ハ五月十三日「トヨウ」 飛「タラカニ」ニ回航 原油ヲ 「リック」ハパン「ニ」輸送「シ」ル 後 同地ニ於テ燃料満載</p>	<p>三 監視哨 二 哨艦「A」区(35)「B」区(45) 「C」区(85) 一 住吉島(45 85) 葦田 磯 島(35) 一 住吉島 監視哨 派出 区 分ハ 85 司令官 所定 トス</p>
--------------------------	--	---	---

信子

<p>十二日 三三九</p>	<p>48d 十日〇九三</p>	
<p>三三五</p>	<p>48d (P 24)</p>	
<p>GF 電令作第五五八號 一部 (飛行機六) 及 24sf</p>	<p>48d 信令作中ニ号 帆電令マカ九七号ニ依ル 駆逐艦ヲニテ七駆(時雨) ニ指定ス</p>	<p>航空ハ七揮發油及内火艇 燃料ヲ成可ク多量搭載 トラクニ取投スバシ ニ48d司令官ハ部下駆逐艦 一隻ヲシテ旭丸ヲ礁外 一五ノ涯附近迄護衛セシム バシ</p>
	<p>信号</p>	<p>信号</p>

13

一 北方部隊ニ編入ス
 二 5.24 (五月雨) 長波ヲ内地
 着後北方部隊ニ編入
 (5.5 入渠及 加尾探 工事等ヲ
 取止ム)
 三 在内地機動部隊ハ急速
 整備訓練ヲ実施北方作
 戦準備ヲ完成セヨ
 四 5.28 6.1 5月20日頃機動
 部隊ニ復帰ノ豫定

無線

十日

二三三五

戸
GF

十一日

〇二二三

各PP
GF

(軍令部
一部長)

GF機密第一二三三五番電

敵情判断

一北方々面

敵ハ先ツ熱田島ヲ攻略

鳴神島ノ補給ヲ断テ

之ヲ攻略ヲ企圖ス

(ロ) 敵ノ有リタル部隊(空母三

乃至四) 主力艦ニ隻巡洋艦

数隻 駆逐艦数隻(ハコシト

ウエ) 一北方々面ニ在リテ

一シヤニ群島攻略作戦ヲ

支援スルト共ニ我が艦隊

ノ奇襲ヲ策ニ當分ノ間

無線

同方面ヲ行動スバシ

(四) 敵潜水艦ハ本州東方海面
及千島列島方面ヲ哨戒中

ナリ

ニ南東方面

敵有タル輸送船團數ハ

夫レモ一ヘブライズ諸島ヲ

モシ諸島方面ニ集中シテ北

方作戰ニ呼應シ近クソモ

諸島方面ニ逐次進改算

アリ

無線

<p>十四日 一六四〇 P AdB</p>	<p>一七五〇 SS 2dg 長波</p>	<p>AdB 雷令作中ニ〇二號 SS 2dg (五月雨) 長波ヲ内地着後 AdB ヨリ除ク</p>	<p>無線</p>
<p>十四日 一六〇〇 夕暮</p>	<p>三 二〇〇三 F 2F 450 240g</p>	<p>夕暮機密中一四一六〇番電 工事十六日入渠ニ十三日出渠 船体應急修理完成二十四日 出撃可能ノ予定但シ徹底 的ニ修理ヲ施行スルモトセバ 三。日出渠六月三日完成ノ予 定ノ所右應急修理ニ差支 ナキヤ</p>	<p>無線</p>

一四日

二二一五

戸
(GF)

二三〇二

部
(GF)

(總長)

250 10 10 10 10 (本)

GF電令作為五六四号

一五月十二日敵ハ熱田島ニ

揚陸目下討峙戰中ニシテ有力

ナル敵艦隊同方面ニ在ルコト

概不確毎身

ニ聯合艦隊ハ北方部隊及機

動部隊ヲ以テ敵海上兵力

ヲ撃滅好機増援兵力ヲ熱

田島ニ輸送逼迫敵ヲ撃破

掃蕩セントス

三各部隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

ハ北方部隊

(一)速ニ潜水艦ヲ熱田島方面

無線

二集中敵艦隊輸送船數手
破

(二)基地航空部隊ヲ以テカリ
ノミヤシ方面哨戒攻撃ヲ行

(三)水上艦艇ヲ以テ好機熱田島
方面敵艦隊輸送船ヲ可
龍數手破

(四)機動部隊進出ニ策應監
視艦澳船潜水艦水偵等
ヲ以テ敵艦ニ対シ哨戒

(五)熱田島 ZOB 輸送進備行

(四) KLB 五月二十日頃横須賀方面ニ

<p>一四日 一六〇三</p> <p>横廠總務 部五人</p>	
<p>一五日 〇三〇三</p> <p>船本總務 部五人 其他</p>	
<p>横廠機密才四一六〇三番電 貴機密才〇五二五二七番電 夕暮ノ事ノ航海ニ差支ナキ 程度ノ應急修理施行ノト五月 三日完成ノ豫定</p>	<p>四本職武藏 3.5 (草鷹 欠) 6.14 五月十七日ヨトラツクニ飛横復領ニ 回航ス</p> <p>集結五月下旬(後令)千島東 方々面ニ進出敵艦隊KdB撃破 ニ任ズルト共ニ北方部隊ヲ援 ス</p>
<p>無 誤</p>	<p>115d 追加(表ニ在リ)</p>

西日

三三一

戸
作

一五月
四五〇

紀
作

上
457
上
35
85

上
257
上
155

瀬長島海
軍
艦

GF電令作中五六五號

二軍隊区分中左ノ通改ム

(一)五月十七日附

(1) 35 257 (軍艦島欠) 11dg (初月涼月)

(2) 11g (時雨有明) 24dg (海風) 主隊 =

(3) 最上新月 KLB =

(4) 瀬日 HPB =

(5) 伊三八替 NTB =

(6) 本島海 ALB =

(7) 五月二十二日(武蔵東京湾着時)

附 35 85 257 (軍艦島欠) 11dg (初月涼

月) 24dg 7 KLB = 24dg (海風) 3 AdB =

二GF電令作中五五五號ニ依ル

無線

十五日

十五日
F 4dB

夕六〇〇
F 4dB
GF

護衛艦中夕暮ヲ24時(海風ニ
改ム

北信令第二八三號

一SIS 24(隼鷹) 8S 6114 2704 時

兩有明) 24(海風) 五月十七日

ト各隊ハ同日迄ニ出動進備

ヲ完成セヨ

ニ飛鷹ハ十五日十六日中ニ基

地ヲ撤收シ飛行機ヲ收容ス

バシ

ALB電令作ヲ二四号

一軍隊区分中左ニ通改ム

信号

十五日
ADB

ADB

神風丸
時雨有明
GP
SP
4Scd

ADB
鳥海
GP

ADB 信令第ニ八四号
神風丸ハ左ニ依リ新調敷正奥雷
ヲ供給(調整正悪シキモ又ハ未調
整)モハ引換スベシ
信号

スズシ
二(五月二十二日)武藏味京湾着時
附 24dg (海風)ヲ原隊ニ復歸ス
二 24dg (海風)ハ昨午合シ作中五五
号ニ依ル護衛任務ニ従事
信号

五月十七日附
(一) 355 (津六次) 11dg (初月作中)
(時雨有明) 24dg (海風)ヲADBヨリ
除?

<p>一五日 一三五二</p> <p>戸 27dy</p>	<p>一五日 一一〇</p> <p>2F 密中長</p>	
<p>一三五</p> <p>艦下部長 横廠長 横需長</p>	<p>一三三三</p> <p>夕暮 上組長 横廠總務 部長略</p>	
<p>27dy 機密中一五二五三番電</p> <p>當隊(時雨有明ノ暮)今期 横須賀入港時(時雨有明 本月二十日夕暮横須賀在</p>	<p>2F機密中一五二二〇米地</p> <p>夕暮機密中四六〇番電返</p> <p>夕暮船体應急修理(横廠機 密中一四一六〇三番電通)施 ノコトトサレ度</p>	<p>一六波ニ対シ八本(成可速ニ)</p> <p>二時雨ニ対シ二本 有明ニ対シ一本</p> <p>(本明月中ニ)</p>
<p>無線</p>	<p>無線</p>	

<p>一五 一八</p>	<p>戸 ADB</p>	
<p>戸 GF. P SF.</p> <p>總長 大星 雲鷹</p>	<p>ADB 鳥海</p> <p>一五 二〇</p>	<p>戸 F. A A</p>
<p>泊中) 艦橋前機銃状態備)</p> <p>コトニ取計ヲ得度</p> <p>ADB電令作中ニ四號</p> <p>二軍隊区分中左ノ通改</p> <p>(一) 五月十七日附</p> <p>(二) 五月十七日(草) (初月涼月)</p> <p>24ly (時雨有明) 24ly (海風) 40ヨリ</p> <p>除(三) 島海子 ADB 本隊ニ編入ス</p> <p>(一) 五月二十日(武藏) 在 宮 湾 着 時</p> <p>附 24ly (海風) 子 隊 復 帰 ス</p> <p>24ly GF 電令作中 五五五号ニ</p> <p>依ル護衛任務ニ從事ス</p>		
<p>無 線</p>		

P 十五
41B 日

戸
GE
P
41B

AdB 一五五五

AdB 信令之十三八六号

明十六日〇七〇〇以後十三艦警戒
 配備中、當直艦並三哨艇監
 視哨派出区左邊改々
 一當直艦(白鳥海)第三
 組(長良神通(摩鹿馬)每三隻
 トシ當直要領從來通り(四
 才組)十六日當直艦ヲ島海トス
 (才三組當直艦区令ハ司令官
 所定)
 二哨艇(白鳥海)ヨリ哨艇一隻又
 ヲ派出(白鳥海)當
 島春島間)ヲ哨戒ス派出区

信号

分先任艦長所定

四神風丸興業丸八夫々高雄

鳥海 要未ニ應ジ右哨艇用

トニテ六発一隻ヲ派出スバシ云

丙丁各哨区 春島東端ヨリ

挑島 男島 冬島 月曜島ヲ

經テ白妙島ニ至ル間 哨艇 番号

八内南洋部隊ヨリ派出

三監視哨 住吉島 (春島海派出

区分先任艦長所定) 四日曜島

(神通) 長良

四亦今特令之ル迄 鳥海集

鷹神通 長良 各機動艇

十五日九時

長良神通

ANB P/F P/400

一隻ニ常時爆雷ヲ裝込備スルニ
 五通信使用電波(キ一)通信信担
 任艦愛宕使用暗号書表
 乙甲九リ廿甲。八。〇電波整
 合ヲ行フヤ一配備中ニ常時待
 受ヲ中ニ三配備中ハ哨艇監
 視哨ハ毎四時初メ待受
 天候ニ應ズルモノト又担任艦
 ハ常時待受トス

ANB信令ヲ一〇〇号
 ANB信令ヲ二八六号ニ依ルヲ三組
 當直艦及日曜島監視哨
 派出ニ関シ左ニ通定ム

<p>一六日 P AAB</p>	<p>九〇 島海 集六 P 4571 A 254 E 467 P 4571 A 254 E 467 四港</p>	<p>刻三〇〇トス AAB 信令中ニハ八号 今左ニ依リ夏島中ニ見張 所ニ信子員ヲ派出シ服務 セシムバシ 各艦及島海各一石集六 ニ右（所シモ水以上）</p>	<p>信号</p>
		<p>一當直艦十六日長良亦右 長良神迎集六ノ順存 二月離島監視哨十六日長良 ヨリ始メ三日間交代（交代時 刻三〇〇トス</p>	<p>信号</p>

1284

<p>一六日 一五二〇</p>	<p>一六日 一一二五</p>
<p>部 NTB 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF</p>	<p>部 NTB 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF 部 GF</p>
<p>GF電令作第五六九號 當分、間南東方面及内南洋 方面ニ敵攻路部隊未定セル 揚合、邀撃ヲ作戦ニ同シ左ノ 通定ム 各部隊指揮官ハ本要領ニ 據リ所要ノ部署ヲ定メ置 クバシ</p>	<p>NTB信電令作第五八号 十三日附4dg (廿秋風)ヲNTFヨリ 除ク</p>
<p>無線</p>	<p>無線</p>

ソロモン、ギニア方面

(イ) AAB 指揮官ハ所要ノ兵カラ

南東方面部隊ニ増勢カス

(ロ) 先遣部隊ハ NTB ニ協力ス

ギニア、シエラレオネ、リベリア方面

(ハ) AAB 指揮官 内南洋方面所任

AAB (EB) ヲ統率ス

(ニ) NTB 指揮官ハ所要兵カラ AAB

ニ増勢カス

三才一頂中三頂方面ト同時ニ未

龍衣ノ場合前二頂ニ進下ス

但シ敵ノ主攻態ヲ方面判明

セバ AAB NTB 各指揮官ニ可能

無
疏

<p>一七日 P AdB</p>	<p>一七日 P Asd</p>	<p>一七日 P GF</p>
<p>一四二八</p>	<p>(Asd) GF</p>	<p>一〇八三〇 P GF</p>
<p>一軍艦長ヲAdB泊地対空防</p>	<p>AdB信令才一九九号ニ依リ トナス但シ煙突及短艇等ノ 標識ハ変更セズ</p>	<p>GF信令才一五一号 当方面所在部隊(4F)所属 ヲ除クヲ區上處スバシ</p>

23

<p>一六日 一七八 P/F</p>	
<p>一九三二 P/F 部 MF P/F P/F (總長 P/F)</p>	<p>AdB (P/F P/F P/F P/F)</p>
<p>GF機密第一六一七八番電 GF電令中七五号 左ニ依リ偽購通信ヲ実施ス 二目的 五月十八日ヨリ二十四日迄 GFノ</p>	<p>衛指揮官ニ指定ス AdB泊地対空 防衛指揮官ハ所要ニ應ジ 適宜上空直衛機及対空哨 戒機ヲ配備シ泊地対空防 ニ任ズベシ 五月十七日以降対潜哨戒ノ 為 AdB飛行機ハ GF派遣ヲ取 止ム</p>
<p>無線</p>	<p>信号</p>

P ADB	一七日 一三五二	
P AF P MF	一三五〇	
郵電令第一〇二号 (并電令第一七五号ニ依ル偽 購通信實施要領左通定 二回次及始(終)時期	大部「ト」ラウ「レ」方面ニ在泊ニ 偽ス (甲)五月二十五日ヨリ約二週間 大部「マ」マーシマル方面ニ集 中「ミ」ドウ「エ」又「ハ」カイト「レ」方 面進攻作戰實施ニ偽ス 三座施要領指道寸官所定 トシ東京通信隊之ヲ協力 ス	無線

第一次五月十八日〇〇〇〇

(三月四日一八〇〇)

第二次五月二十五日〇〇〇〇

(六月七月一八〇〇)

第三次作業実施細目

(一)通信要領トラスク在泊AdB急電

諸(〇)ニテ電報ヲ送信49

東通ハ之ヲ所尋ノ向ニ放送

(中継)ス

(二)通信文 飛 呂波乙暗号

型式、無意味文(空符字

使用)トス

無線

(四) 呼出符合使用予定偽電
用呼出符号(ヨビオ)五十五頁
下ヨリエ一符字及二三頁、下ヨリ
十八符字)

(三) 電信通教標準

(二) 日分) 高野中旗艦三號ス(四) 日分) 無線

鳥海KB旗艦三號ス(三) 日分) 六

神通及長良三通以内

約八適宜(○)ニ依ル中継通教

ヲ増減ス

三) 弟三項作業実施細目

(四) 参加部隊トラック在泊ADB 145 224

409 609 809 及東通

<p>八日 夕暮 〇九四五</p>	<p>八日 2F 参謀 謀</p>
<p>夕暮 P 481 P 2F 2719 戸 GF 戸 GF 戸 GF 戸 GF</p>	<p>八日 〇六四五 Add 戸 484 四港部</p>
<p>夕暮機密中一八。九四五番電 夕暮機密中一七二三。米田電 取消ス 二十九日入渠二十三日出渠予定 通出撃可能、見込</p>	<p>（四）其他追テ定ム 本日以後信令中一八号中 集鷹信号員派出ヲ取止メ 神通長良各一ヲ加ハラル</p>
<p>無線</p>	<p>信号</p>

<p>三月 二〇〇三</p> <p>P GF</p>	<p>二〇日 〇七二四</p> <p>P Add</p>
<p>四月 一ニ一五</p> <p>GF</p>	<p>一〇一五</p> <p>P 25d P 4sd</p> <p>春雨</p> <p>戸 GF P 2KEG</p> <p>横須賀長官 横須賀長官 大正海軍長官 五月雨で波</p>

Add 電令作ヲニ〇五号

一春雨ハ二十一日トラック発横須賀
賀行船團ニ加入横須賀賀ニ
回航修理ニ從事スベシ

二五ハ麾下ニ一員又ヲ派遣シ
右船團(礁外一五〇匝附近迄)
護衛ニ任ゼシムベシ

機密計訓示ヲ四号
本職量ニ計統率ノ大令ヲ
拝シ今因ニ及ベリ本前司
令長官ハ骨ヲ一線ニ埋メ
身ヲ以テ頑敵ヲ勦滅セズンハ

無線

炮ヲサレノ軌ヲ示サレタリ
 征戰一年有半大敵兵力ヲ
 數千倍シ戰路ノ態勢ヲ概
 成シタリト雖モ敵亦其ノ戰備
 ノ増強ニ或ハ新兵器ノ考案亦
 戰法ノ工夫等ニ必死ノ努力
 ヲ拵ヒツアリ更ニ改洲戰局
 ニ乘ジ逐次其ノ主兵力ヲ大
 東西方面ニ集中シテ及改ノ
 態勢ヲ整ヘントレタリ
 敵勢度未ルトモ邀ハテ之ヲ
 撃滅克ク戰事終局捷
 利ヲ獲得セシニハ我亦一層

無
線

奮勵努力益々戦力ヲ練成
 シ強靱ナル改敷テ精神ヲ發揮
 スルト共ニ新兵畧ヲ安ホ出シ
 新戦法ヲ工夫シ以テ時々変化
 スル戰鬥ノ様相ニ對應當ニ
 敵ニ一歩ヲ擧ゲザルノ覚悟ナカル
 ベカラズ戰劔カ今ヤ方ニ酣ナラン
 トスニ向地ヲ守リテ敵ヲ遠ヘ
 敷テタシモハ須ラク帝玉海軍
 ノ本領ヲ發揮之ヲ死守シテ
 敵ヲ殲滅スベク洋上ニ敵ト相
 見エシモハ宜シク近迫固辭
 ノ傳統ヲ發揮シテ滅敵ニ邁

憾ナキヲ期スベシ若シ先レ求
 敵必殺ノ人心ニ至リテハ本職
 亦山本前司令長官ノ志ヲ継
 グモ故元師始メ幾多在天
 ノ英靈ト借ニ敵ヲ撃テ滅シテ
 護ム大任ヲ全ウセシコトヲ
 期シヤリ各員宜シク本職ト
 思ヒナ一ニシ一層奮勵其ノ任
 ヲ完シ以テ
 聖旨ニ副ヒ奉ラシムヲ期セヨ

<p>二六日 一一一〇 艦本總務 部長</p>	<p>二七日 〇八三三 戸部</p>
<p>二七日 〇九五〇 戸部 戸部横廠長 舞廠長 横需部長 朋白</p>	<p>二七日 一五〇〇 戸部 戸部横廠長 大佐總長</p>
<p>艦本機密中二六二〇番電 貴機密中二三〇九二六番電送 電驛器二個横須賀ヨリ急送ス 尚長良、須式轉輪羅針儀 八時機ヲ得次ヲ換此衣方手續 無線</p>	<p>GF電令作弟五七八号 一、雲鷹、沖鷹、潮 現任任務終 了後雲六艦長指揮、下ニ 横須賀ヨリ回航スバシ 二、指揮官ハdメ2(廿廿風)ニ 無線</p>

二九日

〇九二六

戸
GF

一八〇〇

紐
GF

總長横
吳佐鎮
中

ヲシテ雲鷹艦長ノ指揮ヲ受
ケ右部隊ノ護衛ニ任ゼシムベシ
三ツ(曙)ハ現任任務終了後
横須賀ニ回航スベシ

GF電令作中五八〇号

一KdB、北太平洋方面作戰参加

ヲ取止メ同隊ハ約一ヶ月豫定

ヲ以テ急速戦力ヲ錬成スベシ

ニ北方部隊及礮ハ現任作戰ヲ無線

實施シツ、陸軍ト協同機宜

ニ早ク作戰ヲ開始スベシ

三ノ(伊一五六伊五七)伊五五ヲ

北方部隊指揮官ヲ作戰指

二九日
一九四五
P
45d

沖六
朝
P
45d
和雲

揮下ニ入ルHPB指揮官ハ右兵
 カヲ約ニテ日間作戦行動後
 呉ニ歸投セシムバシ
 四月五日附呂一〇四呂一〇五ヲ
 六月十日附10dgヲ各HPBニ編入
 五月十日附387524(隼鷹島久)
 16dg(雪風)谷風 浜月 日章
 丸ヲHPBニ編入トラツクニ進出
 セシムルヲ定
 45d 信令ヲ作チ三号
 4dg (萩風)ハHPB 和雲令ヲ作チ二号
 号ニ依リ和雲鷹島沖六、整隊戒
 任務ニ従事スベシ
 信号

29

					二九日 一七三七	P AdB
總長	沖六 潮 全	横領 P 雲六	P 4F P 2KEY	P 4dg P GF	二三三〇	P 2sd P 4sd
AdB 電令作中ニハ号 雲六 沖六 トリックヨリ横領知賀 回航ニ際シ2sd司令官ハ麾下船 逐艦ニ復テ4sd司令官ハ4dg 飛 ヲ派遣シ雲六艦長ノ指揮ヲ 受ケ同艦ノ警備ニ任ゼシムハシ 無線						

1301

	一		日
	クツラト		所在
	一五	二九 五	南 西
	一五	二七 八	南 東
			半晴 曇
			1000
			日没時
			積雲 層雲
			天候 日向風速
			任務
			一般
			特別
			主
			要
			作業
			記事

雷水四中队艦二第隊艦合聯
隊本隊部進前
機待練訓テリ在ニクツラト

五作戦経過概要

第四水雷戦隊(22号)21日内地着艦編入後

59

1302

四	三	二
---	---	---

二 三六五 東四 兩	八 二六五 南一 兩	一五 二六二 南西二 島
一五 二七五 東九 島	一五 二八五 北東三 島	一五 二九二 南東二 島

隊 戦

1803

七	六	五
---	---	---

一五七 二七 北東 四 曇 曇	一五 二五 東三 半晴	八 九 五 東三 曇
一五七 二七 南東 曇	八 二八 八 東北東 曇	八 二七 一〇 東南東 雨

十六六

	一四八(時雨有明)初月 伊三六潜ト共ニ出動 訓練〇五三〇出港 一七三三敵投	一〇五二三船機 一〇一時時雨 二務揚七 五〇長良 三復帰ス

60

九	八
曇 北東 三七八 八	半晴 東八 二九八 一五
半晴 東七 二九一 一五	半晴 東八 二八九 一五

一有明の五三〇 トラウク級投 二時雨の五四 トラウク級投	二有明の四三三 トラウク出雲 二時雨の〇二 トラウク出雲 二五月雨夕暮 一三二〇横須賀 二何ヶトラウク級投
二有明の五三〇 トラウク級投 二時雨の五四 トラウク級投	二有明の四三三 トラウク出雲 二時雨の〇二 トラウク出雲 二五月雨夕暮 一三二〇横須賀 二何ヶトラウク級投

二有明の四三三
 トラウク出雲
 二時雨の〇二
 トラウク出雲
 二五月雨夕暮
 一三二〇横須賀
 二何ヶトラウク級投
 二有明の五三〇
 トラウク級投
 二時雨の五四
 トラウク級投
 二有明の四三三
 トラウク出雲
 二時雨の〇二
 トラウク出雲
 二五月雨夕暮
 一三二〇横須賀
 二何ヶトラウク級投
 二有明の五三〇
 トラウク級投
 二時雨の五四
 トラウク級投
 二有明の四三三
 トラウク出雲
 二時雨の〇二
 トラウク出雲
 二五月雨夕暮
 一三二〇横須賀
 二何ヶトラウク級投

三	二	五
東八 二八五 一五	晴 東北東 二九八 三五	東四 三四 三五
東南東 二九五 一五	日雲 東六 三〇二 三五	東三 二九八 八

十六六

級投 三三八 有明 三三〇	45d (P) 長良 244g (時雨) 有明) 出動 訓練 〇八〇〇 出港 時雨	

61

西	三
日中 東六 二八五 一五	日中 南東 二六五 一五
日中 東南東 二七八 一五	日中 北東 二六八 一五

一 時雨は四五 上ノク出敷子 一 時雨は四五 上ノク出敷子	一 時雨は四五 上ノク出敷子 一 時雨は四五 上ノク出敷子
一 春雨トシク浮雁集 出集	一 長良の四二四假用地 発燃料補給後〇七二 五 鑑地着 二 船(時雨)船橋入身 九七号ニ依ル相東丸 護身任務ニ従事
一 敵有力 部隊ア ツ島ニ 陸隊準備 隊之入交 戦中	一 船(時雨) 船橋入 隊ニ編入 セラル 二 船(五月) 船橋入 船員 着以後 三 編入セル 一 GF電令作 才五五八号 船西令作 才三〇三三号

七	六	五
日云 東北東 五 二七六 一五	日云 東北東 六 二五八 一五	日云 南東 三 二九七 一五
日云 東六 三〇五 一五	日云 東七 二八 一五	日云 東南東 四 二八一 一五

十八六

一4dg (時雨) 有明 (長官) 横須賀 南ヶ トラツク丸 一4dg (秋風) 〇ハ〇?上ッ 着	一2dg (時雨) 有明 (長官) 依リ (長官) 直 下 横須賀 三回 航ス (天和 直ス) 直 直イ任 放カ	一4dg (秋風) 一5dg (秋風) 一6dg (秋風) 一7dg (秋風) 一8dg (秋風) 一9dg (秋風) 一0dg (秋風)
---	---	---

62

34

九	八	
半晴 東七 二九 一五	曇 南東六 二九 一四 一五	
曇 南東七 二七 二九 八	曇 東南東 二八 一五	

夕暮一五。入渠舢 衝三依ル損傷箇所 修理 敷上備三從事		
		三時雨 有明) 作 中五六号 三隊三編 入セラル

1310

五	四	三
<p>曇云 南東九 二七六 一五</p>	<p>曇云 東南東 一三〇 四五</p>	<p>半晴 東北東 一三〇 八</p>
<p>半晴 東北東 三〇七 一五</p>	<p>曇云 南東 一一七 四</p>	<p>半晴 東八 二七七 一五</p>

<p>一〇月 〇九〇 賀祭 木更津着</p>		
	<p>一〇月 暮〇九〇 出津</p>	<p>一〇月 長良川 假田地 後廿八 良〇六 錯地着</p>

1111

三六 三七 三六

三五 三二 五	東北東 晴	三五 二九 八	東 晴	三五 二九 五	北東 曇
一五 三〇 八	東北東 曇	三五 三〇 一	東 快晴	三五 三〇 一	北東 半晴

十六六

64

三	三〇	三九
<p>景云 東三 三七五 四</p>	<p>晴 東八 三九 三五</p>	<p>晴 東二 元四 一五</p>
<p>景云 東北東 二六七 一〇</p>	<p>晴 東六 三八 一五</p>	<p>景云 東五 二八二 二五</p>
<p>二四 (白露路欠) 九〇内海西 部向全横須 賀登(母大庭 最上十道衛)</p>	<p>春雨一五三 横須賀員着</p>	<p>二四 (白露路欠) 三〇〇本更津 沖登九五三 横須賀員着</p>
<p>下ツ島 我生備 隊玉焚</p>		

65